

氏名： _____

住宅困窮状況申告表

困窮状況	該当する項目に「○」をつけてください。	該当する理由を具体的に記載してください。
工場、倉庫などの非住宅に居住している		
非住宅を内部改装などで転用した住宅に居住している		
持ち家が耐用年数を超え老朽化により修理不可能な住宅に居住している		
持ち家が耐用年数を超え老朽化により住宅の構造部分に大修繕が必要な住宅に居住している		
崖上または崖下などの危険な場所に居住している		
付近に悪臭や騒音を放つ施設があり被害を受けている		
1日中ほとんど日照、通風がないところに居住している		
1つの住宅に直系親族以外の2世帯以上が同居し苦痛が甚大である		
直系親族と同居しているが、苦痛が甚大である		
住宅がないため配偶者（婚約者を含む）と同居できない		
住宅がないため親子、兄弟と別居している		
台所やトイレをほかの世帯と共同で使用している		
1つの部屋又は間仕切りが不完全な場所に2夫婦以上が居住している		
夫婦と12歳以上の者が1つの部屋に就寝している		
1つの部屋に12歳以上の異性兄弟が就寝している		
1つの部屋に12歳以上の同性兄弟が就寝している		
居住スペースが次の基準値以下である 単身：25㎡、2人以上：10㎡×世帯員数+10㎡（1畳=1.65㎡換算）		
家主から立ち退き要求を受けている		
競売により立ち退き要求を受けている		
町外からの通勤を余儀なくされている		
火災により住宅が被災した世帯		
引揚者がいる世帯		
炭鉱離職者がいる世帯		
障害者世帯（身体障害者1・2級、精神障害1級又は知的障害A判定の者がいる）		
障害者世帯（身体障害者3・4級、精神障害2級又は知的障害B判定の者がいる）		
解雇及び会社の倒産等により職を失った世帯		
配偶者等からの暴力被害を受けている世帯		
犯罪被害者等により現在の住居に居住することが困難となった世帯		
生活保護受給世帯		
高齢や体が不自由などのため居住している住宅を維持管理することが困難になっている		
現在の住宅が狭いため、寝たきりの者がいるが専用居室がない		

注) 1. 入居選考の際の判定基準となりますので、正確に記入してください。
 注) 2. 虚偽の記載や実態と異なることがあったと判明した場合は、申込や入居決定が取り消しとなる場合があります。